

# 人権に関する 丹波市民意識 調査（案）

## 【調査 ご協力のお願い】

市民の 皆さまには、いつも 市の 政治に 理解と 協力をしていただき、ありがとうございます。

丹波市は、「人権尊重の まちづくり」を めざして、市の 政治を 進めて います。

最近、人権に関する 新しい 問題が 出て きて います。また、新しい 法律も できて います。このように 社会が変化して いますので、「丹波市人権に関する 市民 意識 調査」を行います。これは、皆さまから 意見を もらい、これからの 施策(計画を 立て、行うこと)を 考えるためのものです。

今回の 調査では、あなたを 回答する人に 選びました(18歳以上の 市民の中から 無作為に2,000人を 選んで います)。

この 調査では、名前を 書きませんので、個人が 特定されることは ありません。お忙しいところ恐縮ですが、皆さまの 意見を もらいたいので、協力を お願いします。

令和7年 月

丹波市長 林 時彦

●次の ページの「記入 についての お願い」を読んでから、記入して ください。

●記入して いただいた 「調査票」は、同封の 返信用 封筒(切手は 不要です)に 入れて、令和7年 月 日( )までに郵便ポストへ 入れて ください。

この 調査に 関する お問い合わせは、下記へ お願いします。

丹波市氷上町成松字甲賀1番地

丹波市役所 まちづくり部人権啓発センター

電話 0795-82-0242 FAX 0795-82-4370

## 記入<sup>きにゆう</sup> についての<sup>ねが</sup> お願い

- 必ず<sup>かなら</sup> 封筒<sup>ふうとう</sup>の<sup>な</sup> あて名に<sup>か</sup> 書いてある<sup>ひと</sup> 人が<sup>かいとう</sup> 回答して<sup>ください</sup>。
- この<sup>ちょうさひょう</sup> 調査票の<sup>ぶんしょう</sup> 文章を<sup>よ</sup> 読むことが<sup>むずか</sup> 難しい人は、<sup>ひと</sup> 家族などに<sup>か</sup> 代わりに<sup>よ</sup> 読むことを<sup>ねが</sup> お願いして<sup>ください</sup>。
- 回答は、<sup>かいとう</sup> 選びたい<sup>えら</sup> 番号を<sup>ばんごう</sup> ○で<sup>まる</sup> 囲んだり、( )に<sup>かこ</sup> 番号を<sup>ばんごう</sup> 記入して<sup>きにゆう</sup> ください。
- この<sup>ちょうさ</sup> 調査は、紙<sup>かみ</sup>の<sup>ちょうさひょう</sup> 調査票の<sup>きにゆう</sup> 記入に<sup>くわ</sup> 加えて、インターネットから<sup>しつもん</sup> 質問に<sup>こた</sup> 答えられます。  
つぎに<sup>か</sup> 書いて<sup>ないよう</sup> いる<sup>URL</sup> 内容の<sup>URL</sup> URL または二次元コードから<sup>にじげん</sup> アクセスして<sup>かみ</sup>、紙<sup>かみ</sup>の<sup>ちょうさひょう</sup> 調査票と<sup>おな</sup> 同じように<sup>しつもん</sup> 質問に<sup>こた</sup> 答えることができます。

※紙<sup>かみ</sup>か オンラインの<sup>いっぽう</sup> どちら一方の<sup>ほうほう</sup> 方法で<sup>しつもん</sup> 質問に<sup>こた</sup> 答えて<sup>ください</sup>。

※オンラインでの<sup>しつもん</sup> 質問の<sup>こた</sup> 答えは<sup>がつ</sup> 月<sup>ひ</sup> 日( <sup>ようび</sup> 曜日)までに<sup>こた</sup> 答えて<sup>ください</sup>。

【オンライン<sup>しつもん</sup> 質問の<sup>こた</sup> 答え用URL (やさしい<sup>にほんごばん</sup>日本語版)】  
https://

【二次元コード】



← サンプル (要差替)

【問1】 次の 人権に 関わる 問題について、あなたは どれぐらい 関心が ありますか。  
1から3の番号に 1つ Oを つけて ください。

	関心がある かんしん	少し関心がある すこかんしん	関心がない かんしん
1 女性の 人権問題	1	2	3
2 こどもの 人権問題	1	2	3
3 高齢者の 人権問題	1	2	3
4 障がいの ある 人の 人権問題	1	2	3
5 同和問題(部落差別)※1	1	2	3
6 外国人の 人権問題	1	2	3
7 アイヌ※2の 人たちの 人権問題	1	2	3
8 HIV(エイズ・ウイルス) 感染者の 人権問題	1	2	3
9 ハンセン病 患者・元患者の 人権問題	1	2	3
10 刑を 終えて 出所した 人の 人権問題	1	2	3
11 刑務所等における 被収容者の 人権問題	1	2	3
12 犯罪被害者と その 家族の 人権問題	1	2	3
13 性同一性障害※3や 同性愛など、性的少数者に 関わる 人権問題	1	2	3
14 ホームレスの 人権問題	1	2	3
15 インターネットを 悪用した 人権侵害の 問題	1	2	3
16 労働者の 権利に 関する 問題	1	2	3
17 若者の 就労促進※4・自立 支援に 関する ことがら	1	2	3
18 ゲノム(遺伝情報)についての 人権問題	1	2	3

※1 同和問題(部落差別)とは 特定の 地域出身の 人びとに 対する 歴史的な 差別の 問題です。

※2 アイヌとは、昔 から 日本の 北に 住んでいて、独自の 文化を 持つ 先住民族です。

※3 性同一性障害とは 体の 男性・女性と、心の 男性・女性が ちがう 状態です。

※4 就労促進とは、仕事をする人を 増やすために 応援することです。